

地域立教会を訪ねて

杉並立教会

緑が町に溢れ、演劇や音楽のカルチャースポットがあり、お祭りが目白押し杉並区。そんないろいろな顔を持つ杉並区の立教会を訪ねました。

——杉並立教会の成り立ちについて教えてください

平成20年11月に、地域立教会を設立したいという有志による発起人会を開催したのが実質的なスタートになっています。

ええっ！杉並に立教会がなかったのという校友の驚きの反応のなかで準備に約1年半をかけ、平成22年7月19日に設立イベントを開催し、東京で24番目の立教会として誕生しました。発足時の会員数は約100名でしたが、それから3年弱が過ぎ、現在は200名を超える規模にまで拡大しました。

——主になどのような活動を行っていますか

グルメ会あるいは蕎麦めぐりといった同好の士による会員相互の親睦や学習の場が設けられています。例えば、女性会員でのグルメ会では、地元にとまらず美味しさと評判の店であれば足を運び、話が咲きます。なお杉並立教会として、この2年間、バザーやチャリティコンサートなどの収益金に会員からお預かりした寄付金を加え、東日本大震災で被災された立教大学の学生のための奨学金を目的とした寄付をさせていただきました。これは、できれば今後も継続したいと考えています。

今後の活動としても「皆で畑を耕したい」「ちびっ子狩りや辛ほりに行こう」などと熱い意見が飛び交っています。発足以来この3年間で、会の活動もまことに、行事も多くなりました。大学への貢献、地元への貢献、会員同士の親睦の深



左より木村義介副会長(昭48法)、伊藤藤子副会長(昭45英)、元田進会長(昭44経)、本村敏則事務局長(昭49法)



阿佐ヶ谷聖ペテロ教会にてバザーを行いました

まりに繋がるのは私たちの願うところですよ。

——杉並立教会の特徴はどんなことですか

特徴は何といっても会費制ではないこと。そうした会の活動を可能にする広告料収入をもたらし、同時に会員同士を結びつける役割を果たしているのがホームページです。また、年間の行事を通じて多くの会員からの寄付も貴重な原資になっています。

このホームページは、大変有

難いことに首都圏の他校友会からも参考にしたいとお褒めの言葉をいただいています。

もう一つ、大きな特徴が会員資格です。大学の地域立教会としての位置づけが基本ですが、小学校から高校までの学院各校の卒業生のみならず、立教女学院、香蘭女学校、立教英国学院の卒業生など、日本聖公会の学校卒業生であればオープンになっても参加いただけます。

——現在の課題を教えてください
現在の会員が昭和卒に偏りが

- 会長……………元田進(昭44経)
- 事務局長……………本村敏則(昭49法)
- 杉並区在住校友数……………約3,000名
- 主な活動……………バザー、チャリティコンサート、クリスマス会等

ちなので、平成卒の方々にも奮って参加していただき、世代間あるいは世代別の交流を活発に進めたいです。特に、次の世代が育ってほしいと思っています。したがって、杉並立教会としての会のあり方を一人でも多くの校友、関係者の皆さんにご理解いただき会員になってほしいと願っており、今後ホームページやフェイスブックといった情報伝達の手段を進化させていきたいと考えています。

——学生・校友へのメッセージ
間もなく迎える設立5周年を目処に、より大勢の校友の皆さんに参加していただけるよう、改めてお呼びかけをしたいと思います。目標は区内在住、在勤の校友約3000名すべてに会員になっていただくことです。もちろん現役の院生・学生さんも大歓迎です。

ホームページに入会フォームがありますので、簡単に手続きができます。

また会員には、eメール、フェイスブック等(必要な方にはファクスや郵送)を通じて活動予定などすべての最新情報を発信しています。是非、ご一緒に楽しい活動を始めましょう。

【取材】町田香子(昭55法)、落畑雄久(昭62経)、丹羽祥太郎(平24会)

杉並立教会連絡先
 ① <http://www.suginami-tkyo.org>
 ② <http://www.facebook.com/tikyokai.org>
 ③ <http://www.facebook.com/tikyovo.alumnusnami>
 ④ 090-2534-9744
 ⑤ 11-00-0001 東京都
 杉並区国分寺1-45-11-702
 杉並立教会事務局
 (卒業年度、卒業学科、ご氏名、ご住所、連絡先電話番号、学生時代のクラブ活動等をお知らせください。)